



2024年度 環境経営レポート

大阪薬研株式会社

(対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日)



エコアクション21
認証番号 0011001

発行日：2025年4月30日

項目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
主な環境負荷の実績	10
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	9
環境経営目標及びその実績	10
環境経営計画の取組結果とその評価	11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反、訴訟等の有無	12 13
これまでの環境活動の紹介	14、15 16、17
代表者による全体の評価と見直し・指示	13

■ ごあいさつ

大阪薬研株式会社は、産業廃棄物の収集運搬を始め、廃棄物の再使用化をテーマに、これまで蓄積したノウハウを基に、提案を行っております。限りある資源を貴重なものと考え、独自の方法で廃棄物を資源として再使用するための加工を行うことが「循環型社会」の形成に寄与するものと考えます。

大阪薬研株式会社
代表取締役 矢野 貴光

環 境 経 営 方 針

《基本理念》

大阪薬研株式会社は、産業廃棄物収集運搬及び試薬販売等を通し、販売・回収のライフサイクルを安全かつ適正に行う事を行動指針とし、「循環型社会」の形成に向け、廃棄物の再利用をテーマに再資源化を推進し、環境負荷の低減を図るため、全社一丸となって自主的、積極的に SDGs 等の環境保全活動に取り組みます。

《環境保全への行動指針》

1. 環境法規制等を順守し、従業員一同環境保全に努めます。
2. 産業廃棄物収集運搬及び試薬販売等を行うにあたり、燃料使用量の削減、CO2 排出量の削減に努力し、省エネルギーを推進します。さらに、廃棄物の再資源化の推進、節水および環境汚染の予防・継続的な改善を推進します。
3. 環境経営方針、環境経営目標を定め、環境経営計画を策定し、継続的な推進を図ります。また、環境経営目標は、定期的に見直しを行い、環境経営レポートに記載します。
4. 環境に配慮した事務備品等のグリーン購入を積極的に推進します。
5. 事務所周辺や地域の清掃活動に積極的に参加します。
6. この環境経営方針は、一般に公開し、理解・普及に努めます。

制定日：2015 年 4 月 1 日

改定日：2025 年 4 月 30 日

大阪薬研株式会社
代表取締役 矢野 貴光

■組織の概要

(1) 名称及び代表者

大阪薬研株式会社 代表取締役 矢野 貴光

(2) 所在地

本 社： 大阪府箕面市稻5丁目13番10号

東京営業所： 千葉県船橋市二子町565

滋賀営業所： 滋賀県栗東市手原4丁目7-13-101

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：片岡 智 072-726-1162

環境管理室長： 山本 昇平 072-726-1162

環境事務局： 山本 昇平 072-726-1162

(4) 事業内容

産業廃棄物収集運搬業及び試薬・理化学機器の販売業

(5) 事業の規模

設立年月日 昭和57年12月15日

資本金 1,200万円

売上高 451,793万円（2024年度売上）

	本社	東京 営業所	滋賀 営業所
従業員	47名	4名	3名
延床面積	735 m ²	85 m ²	120 m ²

事業年度 4月～3月

受諾した産業廃棄物の収集運搬量（2024年度）

廃棄物の種類	運搬量 (t)
汚泥	129.103
廃油	46.630
廃酸	13.388
廃アルカリ	30.375
廃プラスチック類	13.381
金属くず	0.919
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	6.173
引火性廃油	378.170
引火性廃油（有害物質を含む）	41.486
pH2.0以下の廃酸	41.442

pH2.0 以下の廃酸（有害物質を含む）	7.812
pH12.5 以上の廃アルカリ	28.205
pH12.5 以上の廃アルカリ（有害物質を含む）	5.895
廃油（有害物質を含む）	50.937
汚泥（有害物質を含む）	10.478
廃酸（有害物質を含む）	0.366
廃アルカリ（有害物質を含む）	0.980
廃水銀等	0.281
電池類（水銀使用製品産業廃棄物）	8.342
照明機器（水銀使用製品産業廃棄物）	4.979
計測器（水銀使用製品産業廃棄物）	0.471
合計	819.813

車両保有台数

車種	台数	備考
貨物車（バン）	8	産業廃棄物収集運搬車
貨物車（保冷車）	2	産業廃棄物収集運搬車
営業車	10	内5台はハイブリッド車
貨物車（バン）	12	試薬品の配送
合計	32	

■認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 大阪薬研株式会社

関連事業所: 本社、東京営業所、滋賀営業所

活動: 産業廃棄物収集運搬及び試薬・理化学機器の販売業

■許可・登録の内容

◆産業廃棄物収集運搬許可内容（2025年4月30日現在）

許可自治体	許可の取得年月日	許可の有効年月日	許可証区分	優良認定日	許可番号
北海道	平成29年7月13日	令和11年7月12日	産業廃棄物	令和4年7月13日	第00100030216号
	平成29年7月13日	令和11年7月12日	特別管理 産業廃棄物	令和4年7月13日	第00150030216号
宮城県	平成27年5月8日	令和9年5月7日	産業廃棄物	令和2年5月8日	第00400030216号
	平成27年5月8日	令和9年5月7日	特別管理 産業廃棄物	令和2年5月8日	第00450030216号
秋田県	平成27年6月19日	令和9年6月18日	産業廃棄物	令和2年6月19日	第00504030216号
	平成27年6月19日	令和9年6月18日	特別管理 産業廃棄物	令和2年6月19日	第00554030216号

山形県	令和3年10月19日	令和8年10月11日	産業廃棄物		第00609030216号
	令和3年10月19日	令和8年10月11日	特別管理 産業廃棄物		第00659030216号
福島県	平成21年7月9日	令和8年7月8日	産業廃棄物	令和元年7月30日	第00707030216号
	平成21年7月9日	令和8年7月8日	特別管理 産業廃棄物	令和元年7月30日	第00757030216号
茨城県	平成23年9月5日	令和10年9月4日	産業廃棄物	令和4年1月18日	第00801030216号
	平成23年9月5日	令和10年9月4日	特別管理 産業廃棄物	令和4年1月18日	第00851030216号
栃木県	平成28年10月31日	令和10年10月30日	産業廃棄物	令和3年10月31日	第00900030216号
	平成28年10月31日	令和10年10月30日	特別管理 産業廃棄物	令和3年10月31日	第00950030216号
群馬県	平成28年9月1日	令和10年8月31日	産業廃棄物	令和3年9月1日	第01000030216号
	平成28年9月1日	令和10年8月31日	特別管理 産業廃棄物	令和3年9月1日	第01050030216号
埼玉県	平成25年5月31日	令和12年5月30日	産業廃棄物	令和5年7月6日	第01100030216号
	平成25年5月31日	令和12年5月30日	特別管理 産業廃棄物	令和5年7月6日	第01150030216号
千葉県	平成19年11月29日	令和11年11月28日	産業廃棄物	令和4年12月7日	第01200030216号
	平成19年11月29日	令和11年11月28日	特別管理 産業廃棄物	令和4年12月7日	第01250030216号
東京都	平成22年10月12日	令和9年10月11日	産業廃棄物	令和2年10月12日	第13-00-030216号
	平成22年10月12日	令和9年10月11日	特別管理 産業廃棄物	令和2年10月12日	第13-50-030216号
神奈川県	平成22年10月6日	令和9年10月5日	産業廃棄物	令和2年10月6日	第01401030216号
	平成22年10月6日	令和9年10月5日	特別管理 産業廃棄物	令和2年10月6日	第01451030216号
山梨県	平成28年10月27日	令和10年10月26日	産業廃棄物	令和3年10月27日	第01900030216号
	平成28年10月27日	令和10年10月26日	特別管理 産業廃棄物	令和3年10月27日	第01950030216号
長野県	令和元年9月6日	令和13年9月5日	産業廃棄物	令和6年9月6日	第2009030216号
	令和元年9月6日	令和13年9月5日	特別管理 産業廃棄物	令和6年9月6日	第2059030216号
静岡県	平成31年2月7日	令和13年2月6日	産業廃棄物	令和6年2月7日	第02201030216号
	平成31年2月7日	令和13年2月6日	特別管理 産業廃棄物	令和6年2月7日	第02251030216号
愛知県	平成23年4月18日	令和10年4月17日	産業廃棄物	令和3年6月10日	第02300030216号
	平成23年4月18日	令和10年4月17日	特別管理 産業廃棄物	令和3年6月10日	第02350030216号

三重県	平成 17 年 5 月 24 日	令和 7 年 5 月 23 日	産業廃棄物		第 02400030216 号
	平成 17 年 5 月 24 日	令和 7 年 5 月 23 日	特別管理 産業廃棄物		第 02450030216 号
滋賀県	平成 14 年 4 月 18 日	令和 9 年 4 月 17 日	産業廃棄物		第 02501030216 号
	平成 14 年 4 月 18 日	令和 9 年 4 月 17 日	特別管理 産業廃棄物		第 02551030216 号
京都府	平成 7 年 8 月 30 日	令和 8 年 8 月 29 日	産業廃棄物	令和元年 8 月 30 日	第 02601030216 号
	平成 7 年 8 月 30 日	令和 8 年 8 月 29 日	特別管理 産業廃棄物	令和元年 8 月 30 日	第 02651030216 号
大阪府	平成 7 年 5 月 9 日	令和 8 年 6 月 4 日	産業廃棄物	令和元年 6 月 5 日	第 02700030216 号
	平成 7 年 5 月 9 日	令和 8 年 6 月 4 日	特別管理 産業廃棄物	令和元年 6 月 5 日	第 02750030216 号
兵庫県	平成 7 年 6 月 30 日	令和 9 年 6 月 29 日	産業廃棄物	令和 2 年 6 月 30 日	第 02803030216 号
	平成 7 年 6 月 30 日	令和 9 年 6 月 29 日	特別管理 産業廃棄物	令和 2 年 6 月 30 日	第 02853030216 号
奈良県	平成 13 年 8 月 10 日	令和 10 年 8 月 9 日	産業廃棄物	令和 3 年 8 月 10 日	第 02900030216 号
	平成 13 年 8 月 10 日	令和 10 年 8 月 9 日	特別管理 産業廃棄物	令和 3 年 8 月 10 日	第 02950030216 号
和歌山県	平成 24 年 12 月 18 日	令和 11 年 12 月 17 日	産業廃棄物	令和 5 年 1 月 25 日	第 03000030216 号
	平成 24 年 12 月 18 日	令和 11 年 12 月 17 日	特別管理 産業 廃棄物	令和 5 年 1 月 25 日	第 03050030216 号
岡山県	平成 29 年 6 月 12 日	令和 11 年 6 月 11 日	産業廃棄物	令和 4 年 6 月 17 日	第 03300030216 号
	平成 29 年 6 月 12 日	令和 11 年 6 月 11 日	特別管理 産業廃棄物	令和 4 年 6 月 17 日	第 03350030216 号
山口県	平成 26 年 3 月 7 日	令和 13 年 3 月 6 日	産業廃棄物		第 03500030216 号
	平成 26 年 3 月 7 日	令和 13 年 3 月 6 日	特別管理 産業廃棄物		第 03550030216 号
徳島県	平成 26 年 9 月 8 日	令和 8 年 9 月 7 日	産業廃棄物	令和元年 10 月 11 日	第 3600030216 号
	平成 26 年 9 月 8 日	令和 8 年 9 月 7 日	特別管理 産業廃棄物	令和元年 10 月 11 日	第 3650030216 号
愛媛県	平成 28 年 6 月 17 日	令和 10 年 5 月 26 日	産業廃棄物	令和 3 年 9 月 17 日	第 03807030216 号
	平成 28 年 6 月 17 日	令和 10 年 5 月 26 日	特別管理 産業廃棄物	令和 3 年 9 月 17 日	第 03857030216 号

◆産業廃棄物収集運搬取得品目(積替え保管は含まない)

	品 目	北海道	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
産業廃棄物	汚泥	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●
	廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●
	金属くず	●	●	●	●	●	●
	ガラスくず	●	●	●	●	●	●
	木くず					●	
特別管理	汚泥	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●
	廃水銀等	●	●				●

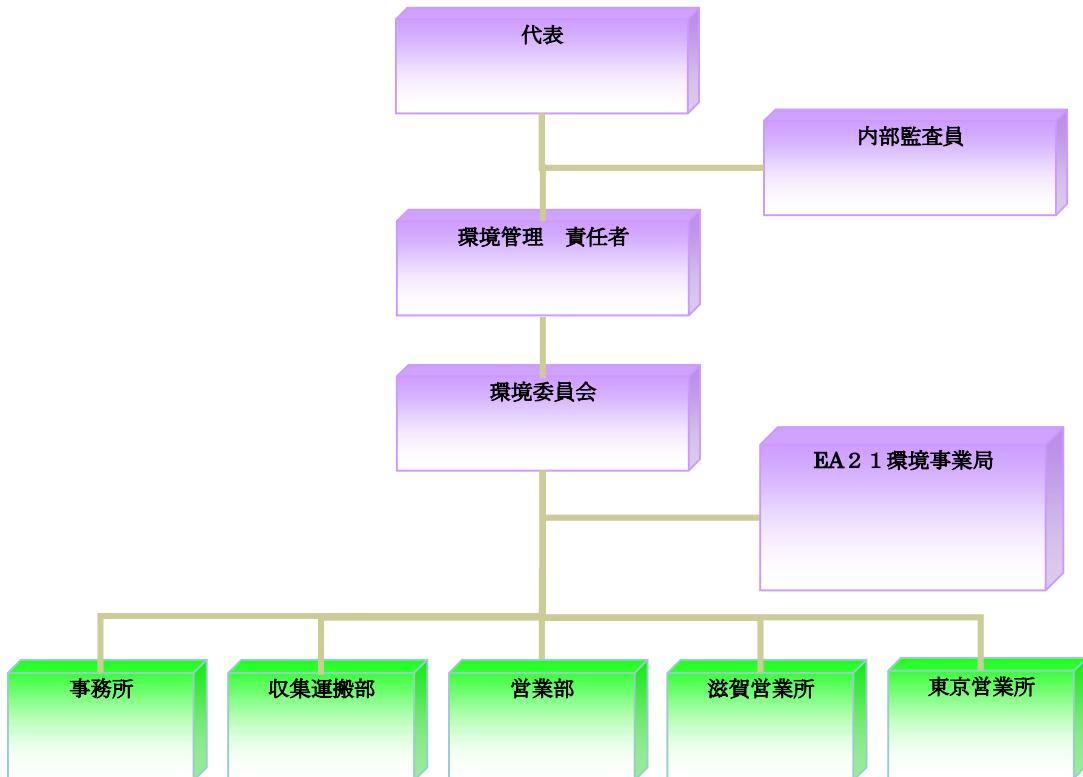
	品 目	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県
産業廃棄物	汚泥	●	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●
	廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●	●
	金属くず	●	●	●	●	●	●	●
	ガラスくず	●	●	●	●	●	●	●
	木くず				●			
特別管理	汚泥	●	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●
	廃水銀等		●			●	●	●

	品 目	長野県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
産業廃	汚泥	●	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●
	廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●	●

棄物	金属くず	●	●	●	●	●	●
	ガラスくず	●	●	●	●	●	●
特別管理	汚泥	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●
	廃水銀等	●	●	●	●	●	●

	品目	兵庫県	奈良県	和歌山県	岡山県	山口県	徳島県	愛媛県
産業廃棄物	汚泥	●	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●
	廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●	●
	金属くず	●	●	●	●	●	●	●
	ガラスくず	●	●	●	●	●	●	●
特別管理	汚泥	●	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●
	廃水銀等	●	●	●	●		●	

■組織図



■主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
		4月～3月	4月～3月	4月～3月
二酸化炭素総排出量 (電力)二酸化炭素排出係数	kg-CO ₂	207,169	208,898	210,991
		0.334	0.334	0.334
廃棄物排出量合計	kg	7,995	7,565	8,339
一般廃棄物量排出	kg	6,497	5,894	6,230
産業廃棄物排出量	kg	1,498	1,671	2,109
水使用量	m ³	360	331	338

*電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力 2018 年調整後の **0.334kg-CO₂/kWh** を使用する。

■環境経営目標及びその実績

項目	2014年 基準年度	2023 年	2024年		達成結果	2025 年	2026 年
		実績	目標	実績		目標	目標
電力の二酸化炭素総排出量削減(kg-CO ₂) 売上原単位 (kg-CO ₂ /売上高(万円))	30,302	22,076 73%	22,727 75% (基準年度)	22,752 75% 100%	未達成	22,424 74% 0.0498 99%	22,121 73% 0.0492 98%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減(kg-CO ₂) 売上原単位 (kg-CO ₂ /売上高(万円)) 燃費率 (km/L)	210,547	186,712 88%	183,176 87% (基準年度)	188,128 89% 100%		181,071 86% 0.412 99%	178,965 85% 0.408 98%
都市ガスの二酸化炭素排出量削減(kg-CO ₂)	243.3	110.2 45%	189.8 78%	110.2 58%		達成！ 77%	184.9 76%
上記二酸化炭素量排出量合計(kg-CO ₂)	241,092	208,898	206,093	210,991	未達成	203,683	201,271
一般廃棄物の削減(kg)	8,340	5,894 71%	7,256 87%	6,230 75%	達成！	7,172 86%	7,089 85%
産業廃棄物の削減(kg)	8,520	1,671 20%	4,090 48%	2,109 25%	達成！	4,004 47%	3,919 46%
節水(m ³)	465	331 72%	363 78%	338 73%	達成！	358 77%	353 76%
グリーン購入(比率)	調査年度	18%	18%	19%	達成！	19%	20%
社会貢献 (月1回以上の清掃)	1回	1回以上	1回以上	1回以上	達成！	1回以上	1回以上

■環境活動の取り組み計画と評価

◎良くできた ○まあまあできた ▲あまりできなかつた ×全くできなかつた

取組計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)	
電力による二酸化炭素排出量の削減			
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	使用頻度の低い照明は消灯 終業時主電源を切る 空調の適正化	◎ ◎ ◎ 達成手段の実行を心がけて います。引き続き継続して実 施します。	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
11 住み継がれる まちづくりを 	13 気候変動に 具体的な対策を 	エコドライブの励行 タイヤ空気圧の適正化 車両整備の励行	○ ○ ○ エコドライブの推進。効率的 な運行を心掛けましょう。引 き続き継続していきます。
都市ガスの削減			
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	洗い物は纏めて洗う 給湯器の止め忘れに注意	◎ ◎ 冬季時期の使用に気を付け ましょう。継続して実施しま す。	
一般廃棄物の削減			
11 住み継がれる まちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 	コピー紙の両面使用 文書の電子化 使用済用紙の使用	◎ ◎ ○ 両面使用、文書の電子化は 重要です。継続して推進し ます。
産業廃棄物の削減			
11 住み継がれる まちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 	簡易包装の商品を購入 再生し易い素材備品の使用 廃棄物の分別の徹底	◎ ○ ○ 減容や圧縮することで削減 が促進すると思います。今 後も継続して削減します。
節水			
6 安全な水とトイレ を世界中に 	水量、水圧の調整 節水の励行 水量を減らす工夫 洗車を最小限に留める	○ ◎ ○ ○ 洗車等の水道使用に気を 付けて行いましょう。引き続 き継続して実施します。	
グリーン購入			
14 海の豊かさを 守ろう 	15 蔟の豊かさも 守ろう 	再生利用が可能な備品を使用 再生紙の使用	○ ○ 来期も、使用する道具類に ついてもエコ商品を優先的 に採用するように考えます。
社会貢献			
11 住み継がれる まちづくりを 	16 平和と公正を すべての人へ 	会社周辺の毎月の清掃 社内、外の緑化活動の推進 町内会への活動協力	◎ ○ ○ 清掃についてはよく皆さん が実施しています。継続し て行います。

■環境上の緊急事態への準備及び対応

各所における環境上の緊急事態について手順を定め、訓練の実施を行い、環境保全に努めています。

事務所内訓練



倉庫内訓練



■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬に係る法律	◎
道路交通法	安全運転管理者の選任、車両整備、アルコールチェック	◎
毒物及び劇物取締法	毒劇物一般販売業	◎
医薬品医療機器等法	医薬品販売	◎
	高度管理医療機器等販売	◎
自動車NOx・PM法	自動車の排ガス規制	◎
自動車リサイクル法	所有車両全てに適用	◎
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、電気冷蔵庫などの適正廃棄とリサイクル	◎
フロン排出抑制法	(業務用)冷蔵庫・冷凍庫・エアコン・保冷車の点検	◎

環境関連法規等の遵守評価の結果：概ね遵守されていました。

■違反、訴訟等の有無

過去5年間において、関係当局よりの違反、訴訟等はありませんでした。

■代表者による全体の評価と見直し・指示

今期は電力使用量・自動車燃料で未達となりました。基準値が2014年で10年を経過の為、今期を基準値に再設定を指示しました。引き続き、自社の環境ビジョンであります「試薬と環境の未来を拓く」を元に社内意識の向上を図り、行動に移していくことが必須であると考えます。

- ・環境経営方針→変更あり（SDGs等取組みの明文化）
- ・環境経営目標・計画→変更あり（基準値を2024年度で再設定）
- ・実施体制→変更なし



■環境活動の紹介

試薬販売の経験を生かし、研究設備の機器、設計・施工から不要薬品の破棄に至るまで、トータルにサポートします

お客様の高度な研究・技術開発をサポートするために、私たち大阪薬研では常に新しい技術やニーズに対応。世界中の試薬や理化学機器の情報を入手～分析し、最新・最適なサービスをご提案します。また、環境対策にもお応えできるよう、廃液や廃試薬の収集～運搬～処分も承っています。

営業部

国内外の幅広い取扱商品群

バイオサイエンスから環境分析までの幅広いテクノロジーの発展とより高い R&D の実現に向けて、試薬・分析理化学機器および設備に至る、あらゆる品を揃えて、皆様のニーズにお応えしてまいります。また、グローバルな研究をサポートするために、外の試薬・機器類も直輸入しています。



ノロ
商す。
海

環境部

試薬・廃液を安全に処分



残余の物や古くなった試薬類は環境への悪影響や事故・事件等に遭う危険性があります。処分を望まれる試薬の処分は化学や法令に精通した当社が速やかに適正処分いたします。

ステッカーによる周知活動

運搬車両にエコアクション21ステッカーを張り付け、周知活動を積極的に実施しています。

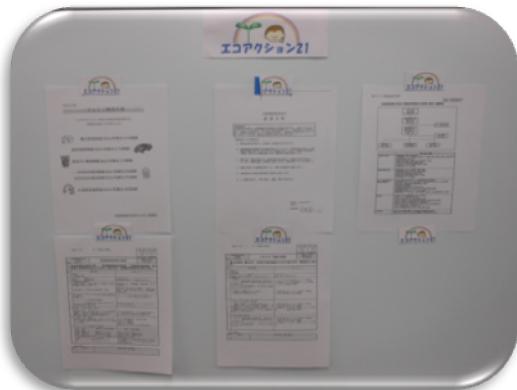


私たちの「環境掲示板」です

事務所の真ん中に設けました。

- 環境方針
- 環境目標
- EA21実施体制図
- 手順書

誰でもが見られて確認できるようにしました。



定期清掃活動

社内の清掃はもちろんのこと、周辺清掃を積極的に行うことで、社会貢献してまいります。



事務所(本社・東京営業所)の照明に

LEDを採用

LED 照明を採用し、環境に配慮しています。



ハイブリッド車の導入

今後も積極的に導入してまいります。



ドライブレコーダーの導入

今後も積極的に導入してまいります。



SDGsとの関連性に向けて…

産業廃棄物排出用リサイクルボトル

器を採用

リサイクル容器を採用し、環境に配慮しています。



容器の返却

環境負荷軽減を推進します。



梱包資材の活用

今後も積極的に導入してまいります。

